

超高齢・人口減少社会のタクシー—公共交通の機能・サービス開発とドライバー不足対策

# タクシー生き残り戦略—地域密着型外出支援事業のビジネス化と働き方改革

～タクシーイノベーションとICT活用—ライドシェアを超えるサービス開発・経営改革と交通まちづくりへの参画～

- ICT活用・シェアリングエコノミー・自動運転時代のタクシー産業とビジネスモデル創造
- [北九州・三ヶ森タクシー] タクシーイノベーション・乗務員不足対策からの新事業と働き方改革
- [前橋・グループタクシー] 高齢者の外出を活性化する相乗りサービスのシステムと利用特性
- [仙台・フタバタクシー] 多様な移動制約者サービス充実による地域密着型タクシー事業の展開

>>> 講師陣


**中村 彰宏** 氏 / 横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科教授  
**森田 哲夫** 氏 / 前橋工科大学工学部社会環境工学科教授  
**貞包 健一** 氏 / (有)三ヶ森タクシー 代表取締役 (北九州市)  
**及川 孝** 氏 / (有)フタバタクシー 代表取締役 (仙台市)

>>> 日時・会場

**2018年1月31日 (水) 10:00～16:50 剛堂会館・会議室 (東京・千代田区)**

時	講 義 内 容	
10:00 } 11:25	<p><b>ICT、シェアリングエコノミーの進展とタクシーサービスを取り巻く環境変化</b></p> <p>1. シェアリングエコノミーで何が変わるのか 2. 市場構造変化とビジネスモデルの変化</p> <p>3. 消費者評価情報は規制を代替するのか 4. 自動運転などの技術革新とタクシー産業の今後</p>	<p>横浜市立大学大学院 国際マネジメント研究科 教授 <b>中村 彰宏</b> 氏</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
<p>2000年統計学修士 (Yale University)。2002年博士 (商学) (慶應義塾大学)。1996年郵政省入省、郵政研究所、情報通信政策局、帝塚山大学経済学部を経て、現職。その他、日本交通学会評議員、公益事業学会評議員。専門は、産業組織論、計量経済学。主な著書に、『通信と交通のユニバーサルサービス』(共著、2013、勁草書房)、『総合研究 日本のタクシー産業』(共著、2017、慶應義塾大学出版会)等。</p>		
11:35 } 13:00	<p><b>[福岡・北九州市] タクシーイノベーションと乗務員不足対策への挑戦</b> ～ライドシェアの先を見据えた経営改革とサービス開発～</p> <p>1. 道路運送法の変遷とタクシーがどう変わってきたか? 2. タクシーの現状と課題を整理してみよう 3. タクシー運賃料金制度の不思議</p> <p>4. ライドシェアを研究し良いところを学ぼう 5. 規制改革推進会議への提案 6. 今、働き方改革でタクシーは変わっていきけるか?</p>	<p>(有)三ヶ森タクシー 代表取締役 <b>貞包 健一</b> 氏</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
<p>京大工学部・大学院冶金学専攻。川崎製鉄(現JFEスチール)勤務後、平成2年に夫人の実家三ヶ森タクシーを引き継ぐ。全国初のタクシー定期券や電車とタクシーの乗り継ぎ回数券など、斬新なアイデアで業界に新風を吹き込む。また、タクシー事業だけではなく、「夜間対応型訪問介護サービス」等の介護事業も行う。</p>		
13:50 } 15:15	<p><b>[群馬・前橋市] 相乗りグループタクシーのシステムと課題</b> ～高齢社会における外出支援とタクシー活用～</p> <p>1. パーソントリップ調査による高齢者の交通特性 2. 地方都市における高齢者の外出支援 3. 前橋市の相乗りグループタクシーのシステム</p> <p>4. グループタクシーの利用特性と利用意識 5. 相乗りグループタクシーに関する課題</p>	<p>前橋工科大学 工学部 社会環境工学科 教授 <b>森田 哲夫</b> 氏</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
<p>早稲田大学大学院修士課程修了。博士 (工学) (早稲田大学)。大学院修了後、都市・交通計画のシンクタンクに勤務し、国の都市交通政策検討や全国の自治体の都市・交通計画の立案に15年間従事、計画実務に関わる。その後、教員となり、群馬県や東北地方で研究活動を展開。少子高齢・人口減少、環境重視の社会において、将来も持続可能な都市と交通を実現したいと考えている。主な著書に、『群馬から発信する交通・まちづくり』(編著、2017、上毛新聞社)等。</p>		
15:25 } 16:50	<p><b>[宮城・仙台市] 地域密着型タクシーサービスの展開</b></p> <p>1. 介護福祉タクシーでの生き残り策 2. 子育てタクシーの運行と展開</p> <p>3. 移動制約者の移送をどうするのか 4. 今後の支援サービスの展開について</p>	<p>(有)フタバタクシー 代表取締役 <b>及川 孝</b> 氏</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
<p>武蔵大学経済学部卒。仙台銀行に30年勤務し、その後現職に就任。その他、(一社)全国子育てタクシー協会会長、宮城県タクシー協会仙台総支部理事、東北運輸局地域公共交通仕事人、仙台労働基準協会交通労働災害防止部会長、仙台市・宮城県福祉有償運送協議会委員。会社紹介掲載本『弱者にやさしい会社の話』(坂本光司と研究室、2010、近代セールズ社)、『日本のいい会社』(坂本光司と研究室、2017、ミネルパ書房)。</p>		

**【研修会の参加要領】**

■ 日 時 : 2018年1月31日 (水) 10:00～16:50  
 ■ 会 場 : 剛堂会館会議室  
 東京都千代田区紀尾井町3-27 (案内図は申込後送付)  
 ■ 申込方法 : 裏面下部の申込書に所要事項を記入の上送付下さい (FAX・メール等)。  
 ■ 申込先 :  **地域科学研究会**

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106  
 TEL 03 (3234) 1231 FAX 03 (3234) 4993  
 URL : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/>

**■ 参加費 (1名分)**

	当日参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一般	35,000円	38,000円

※メディア参加の方には、研修会終了後音声CDと資料をお送りします。  
 ※参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席またはメディア参加とさせていただきます。

**■ 支払方法**

請求後の振込 (銀行振込・郵便振替・現金書留・当日払い)  
 みずほ銀行麹町支店 普通1159880  
 三井住友銀行麹町支店 普通7411658  
 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767  
 郵便振替:00110-8-81660 □座名: 地域科学研究会



## 移動制約者の交通環境整備

～ユニバーサルデザインのソフトとハード～

【監修】岡 並木 (評論家)  
 【著者】溝端 光雄 (東京都老人総合研究所生活環境部門室長) 他  
 A4判 256頁/97.1刊/定価 10,276円(税・送料込)(本体:9,515円)  
 参加者特価:8,500円(税・送料込)

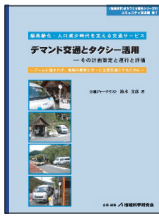
### 第1章 高齢者・障害者の移動特性

1. 高齢者・障害者の移動に係る生理的・心理的特性 溝端 光雄
2. シニア体験プログラム 日本ウエルエージング協会 工藤 武重
3. 高齢化社会の移動環境 岡 並木
4. 高齢者の生活構造と交通環境 千葉大学 鈴木 春男
5. 高齢者の交通特性と運転環境 建設省 中村 英夫
6. 福祉のまちづくりに向けた社会資本の整備 日経産消研 大石 一

### 第2章 移動制約者のモビリティ確保とユニバーサルデザイン

1. 移動制約者と交通計画 秋田大学 清水 浩志郎
2. 福祉のまちづくりと交通計画 東京都立大学 秋山 哲男
3. 災害時の移動制約者への対応 兵庫県福祉のまちづくり研 上杉 輝之
4. まちづくり計画とバリアフリーデザイン 日建設計 上野 和彦
5. 高齢者・障害者が自由に利用できる都市交通 運研センター 和平 好弘
6. 元気な高齢化社会をつくるバス交通 私鉄労組九州地連 栃木 義博

### 第3章 高齢者・障害者の交通・まちづくりに関する文献



## デマンド交通とタクシー活用

～その計画策定と運行と評価

～地域公共交通網形成を担うデマンド交通システムの事例研究～

【著者】鈴木 文彦 (交通ジャーナリスト)  
 B5判 160頁/13.3刊/定価 5,119円(税・送料込)(本体:4,740円)  
 参加者特価:4,700円(税・送料込)

### 第1章 デマンド交通の特性と導入事例増加の背景

1. デマンド交通～その歩みと特性～
2. 地域公共交通の維持・活性化の視点から見るデマンド交通とその位置づけ
3. デマンド交通導入事例増加の背景

### 第2章 デマンド交通「ブーム」の落とし穴とデマンド交通の特性・適性

1. デマンド交通の落とし穴
2. デマンド交通の特性・適正と課題～本当にデマンド交通が必要とされているのか～

### 第3章 デマンド交通とネットワーク構築、事業採算と事業者参画

1. 交通ネットワーク構築上の役割  
～デマンド交通と路線バス、タクシー、STSとの機能分担～
2. デマンド交通の事業採算のあり方と運行事業者の参画

### 第4章 タクシー活用戦略とデマンド交通の近未来

1. どんなロケーションにどのようなデマンド交通が効果的なのか
2. タクシーは究極のデマンド交通～一般タクシーを活用した生活交通確保への挑戦～
3. 超高齢化・人口減少社会におけるデマンド交通の近未来像

### 第5章 [Q&A] 講師と参加者によるネクストステージへの模索



## バス・タクシーの地域・住民ニーズ

～新しい事業区分と地域公共交通の構築～

【監修】鈴木 文彦 (交通ジャーナリスト)  
 寺田 一薫 (東京海洋大学海洋工学部教授)  
 A4判 202頁/06.10刊/定価 9,720円(税・送料込)(本体:9,000円)  
 参加者特価:8,500円(税・送料込)

### 第1編 乗合事業の新制度

～コミュニティバス、乗合タクシー等の現状と新スキーム

- 第1章 コミュニティバス、乗合タクシー等の普及促進に向けた新しい制度について 国土交通省自動車交通局旅客課長/田端 浩
- 第2章 改正道路運送法関係法規集(条文, 政省令, 通達, ガイドライン)

### 第2編 行政・事業者・地域の役割と中間モードの先行事例

- 第1章 バス交通再編成を中心としたバランスのとれた地域交通の実現に向けた取組み 三郷市環境経済部交通対策課/大野練夫
- 第2章 地方圏の公共交通～バスとタクシーを組み合わせた新しいサービスの創造 第一観光バス・十和田タクシー社長/中嶋日吉
- 第3章 多様な乗合旅客ニーズへの対応と自治体、交通事業者の役割 東京海洋大学/寺田一薫
- 第4章 バスとタクシーの中間モード等、多様なシステムによる生活交通の確保 交通ジャーナリスト/鈴木文彦

### 第3編 新・乗合事業と生活交通ニーズ～地域生活交通の構築に向けて

[パネル討論] 乗合事業の新区分と中間モードの開発  
 ～地域・市民ニーズに対応した交通システム構築



## 福祉有償運送制度とタクシー事業

～潜在需要とビジネス展開

～タクシー・NPO等福祉移送サービスの協働と運営協議会～

【監修】武本 英之 (東京交通新聞編集局取材部長)  
 山内 弘隆 (一橋大学大学院商学専攻科長・商学部部長)  
 A4判 228頁/06.10刊/定価 9,720円(税・送料込)(本体:9,000円)  
 参加者特価:8,500円(税・送料込)

### 第1編 新しい法制度の要点と今後の展開

- 第1章 福祉有償運送の新たな仕組みとタクシー事業 国土交通省自動車交通局旅客課長/田端 浩
- 第2章 改正道路運送法関係法規集(条文, 政省令, 通達, ガイドライン)

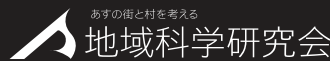
### 第2編 福祉有償運送のシステム・主体とタクシーの新サービス

- 第1章 すべての人々の移動自由を目指して 神奈川県保健福祉部地域保健福祉課/金井信高  
～神奈川県における福祉有償運送の取組と今後の展望
- 第2章 高齢者等の生活支援に向けたタクシーの新しいサービスの展開 愛知県タクシー協会会長・大興タクシー社長/吉田 稔
- 第3章 セダン特区の全国展開等に向けた取組み 移動サービス市民活動全国ネットワーク理事/鬼塚正徳
- 第4章 ボランティア福祉有償運送の普及に向けた新しい仕組み 山内 弘隆

### 第3編 タクシー事業・NPO団体との共存・協働の方向性と運営協議会

- 第1章 [問題提起] 法制度の見直しに伴うタクシーと福祉移送サービスの課題の整理
- 第2章 [パネル討論] 福祉有償運送制度と運営協議会  
～タクシー・NPOの協働・共存と新需要の創造に向けて～ 武本 英之

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一丁目6-4 ライオンズ第2-106  
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993  
 URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書 年 月 日】 希望欄に印を入れて下さい FAX: 03(3234)4993 MAIL: machi@chiikikagaku-k.co.jp

■研修会の参加 『タクシー生き残り戦略』: 当日参加 メディア参加

■出版物の購入 『移動制約者の交通環境整備』 \_\_\_\_\_冊 『バス・タクシーの地域・住民ニーズ』 \_\_\_\_\_冊  
『デマンド交通とタクシー活用』 \_\_\_\_\_冊 『福祉有償運送制度とタクシー事業』 \_\_\_\_\_冊

勤務先 \_\_\_\_\_ 所在地 〒 \_\_\_\_\_ 連絡担当者 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

参加者氏名 \_\_\_\_\_ 所属部課役職名 \_\_\_\_\_

〈通信欄〉○をつけてください  
 ・支払方法 (銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留)  
 ・必要書類 (納品書・請求書・見積書・領収書)  
 (請求書宛名等)